

2022年7月30日(土)共生社会を創る愛の基金
第11回シンポジウム第3部 基金と仲間の“この10年”

トラブルシューター（TS）ネットの 到達点を振り返り今後の展開を考える

—知的障害・発達障害のある人の
触法やトラブル・危機支援に向けた各地の
新しい支援ネットと人材養成を目指して

全国TSネット

竹田 一光（新潟TS）

山田 恵太（東京TSネット/トラ弁護士ネット）

堀江まゆみ（東京23区TS）

HP : <https://zenkoku-ts-network.jp/>
事務局連絡先 info-zenkoku-ts@shiraume.ac.jp



トラブルシューター（TS）ネットワークとは

- 目的；
社会から孤立している、あるいはそのためにトラブルや触法行為を犯した知的障害者・高齢者（さまざまな問題行動を抱える人を含む）に対して、地域の支援者、司法関係者、矯正関係者、親、学校関係者、行政等がネットワークを組みながら包括的な支援の実施体制を創る。
- 活動；

包括的な支援基盤およびTS人材養成

- ①地域における**トラブル予防**に向けた取り組み
- ②**刑事手続き**の中での司法・福祉・当事者の連携
- ③**地域で支え続ける**ための支援者と専門的対応

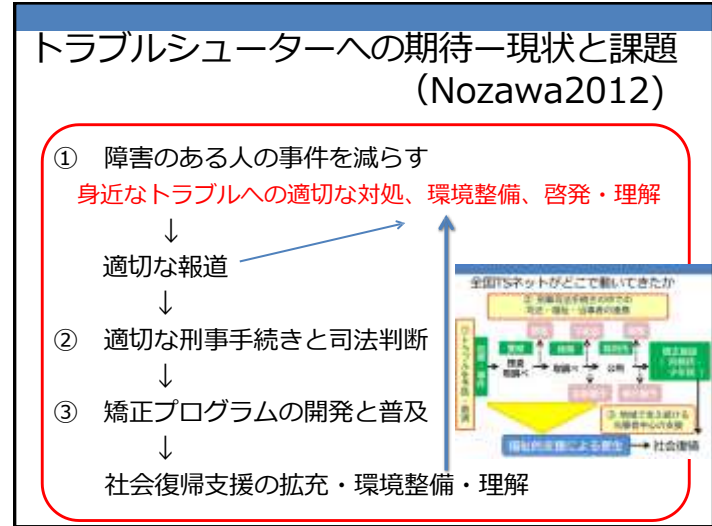
新たな人材養成としてのTSではあるが —今ある支援の専門性をどう活用するか

- 我が国の社会保障制度はぎりぎり
- 社会保障費は右肩上がり
- 課題に制度が追いつかない/適さない
- 制度を創設すればするほど、その狭間にある人達は、支援の網からこぼれ落ちていく…
- **トラブルシューター：隙間を埋める役割**
- 機関と機関、制度と制度、支援と触法、地域住民と専門家、当事者と支援者…

TS構築に向けて

人と人のつながりの中で問題解決を図る
隙間を埋める…制度・役割・立場…
機関・分野をつなぎ、地域を耕すこと





- ### トラブル・シューターの条件 (Nozawa2012)
- ① 障害者を守る覚悟と障害特性の理解
 - ② 原因究明への知的好奇心
 - ③ 冷静、科学的な思考
 - ④ 法律、制度、地域資源を熟知
 - ⑤ コーディネート能力
 - ⑥ 警察、弁護士、地域社会への交渉力
 - ⑦ 地域社会やメディアに説明し納得させるプレゼン能力と胆力

- ### あらためてTS活動を振り返り 今後の展開を考える
- 山田恵太 (東京TSネット)
刑事司法手続きの中での
司法・福祉・当事者の連携 (②)
- 竹田一光 (全国TSネット・新潟TSネット)
トラブル予防 (①) と
地域で支援し続ける活動 (③)
-

今後のTSの展開を考える

1. 更生支援コーディネーター等、
適正な刑事手続きと司法判断を
進めていくためにどう展開していくか（山田）

2. **地域支援プログラムの開発と普及・社会復帰支援の拡充**—地域で支え続けるために専門的なアプローチ・スキルを各地に伝えるか（竹田）

3. **身近なトラブルへの適切な対処、**
環境整備、啓発・理解をどう進めるか



「司法への公平なアクセス権の保障」国際フェロー会議
(障害者権利条約第12条：**法律の前における平等な承認**)
(20220721～英国カンタベリー)

《TSの展開①

身近なトラブルへの適切な対応/啓発》

- * 段ボール市民劇団による参加型演習とディスカッション
「どの場面で、誰が、どうしていれば良かったですか？」
事例；自閉症—逮捕—勾留—裁判
- * 身近なトラブルをどうシューターするか—**TSキャラバン隊**
支援者・市民・警察・弁護士・裁判官それぞれが考える機会



「司法への公平なアクセス権の保障」国際フェロー会議
(障害者権利条約第12条：**法律の前における平等な承認**)
(20220721～英国カンタベリー)

《TSの展開②司法手続き仲介人の養成

適正な刑事手続きと司法判断

法廷でのコミュニケーション支援

イギリス
ニュージーランド
スペイン
イスラエル
ケニア
韓国 で実施

